

NPO法人 鹿児島技術士の会 講演会

1. 目的

最新科学知見・技術・産業動向等の講演を通して既存技術の革新を図るとともに、会員の自己研鑽を図る。

2. 事業計画

科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、あらゆる産業の課題の解決に向けた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

今回は、塩屋 晋一氏(外壁打診システム全体総括・鹿児島大学理工学域工学系教授)、鹿島 雅之氏(画像情報分析、AI・鹿児島大学理工学域工学系助教)を講師に迎える。

3-1. 今回の内容

日時：平成30年9月8日(土) 14:00~16:00

場所：鹿児島市勤労者交流センター(よかセンター)第一会議室

住所：鹿児島市中央町10番地キャンセ7階

定員：70名

会費(会場・資料作成等)：一般 1,000円

NPO会員 700円

学生 無料

申込先：NPO法人 鹿児島技術士の会

鹿児島市田上四丁目5番17号(株式会社 郷土開発内)

TEL 099-214-5355

FAX 099-213-4791

E-MAIL t.ueno@ueno.jyo.com

(末尾の申込書にて9月3日までにMAILまたはFAXでお申込みください)

(定員に達し次第締め切らせていただきます)

演題：「音響解析と動画解析を応用した

外壁等の省力打診調査について」

講師： 外壁打診システム開発全体総括 **塩屋 晋一 (しおや しんいち)**
鹿児島大学理工学域工学系教授

画像情報分析、AI **鹿島 雅之 (かしま まさゆき)**
鹿児島大学理工学域工学系助教

3-2. 講演概要

インフラ投資の重点が、整備から維持管理へと大きく転換してきた今、喫緊の課題として技能者の確保、労働安全性の確保、コストの低減である。平成20年には特殊建築物に関し外壁の打診調査が義務付けられた（建築基準法第12条改正）。今後は急傾斜地崩壊危険区域でのコンクリート系覆工面への拡大も考えられる（行政のニーズも顕在化している）。

このうち、そのほとんどが高所作業である建物の外壁やコンクリート吹付け斜面の打診には特に安全性向上とコスト低減が望まれている。既往の赤外線診断には外気温の変動の影響や壁面の方位、陰、仕上げ種類や天候により精度に著しい不確実性が存在することから、打診方式の精度向上と省力化が求められてきた、またテストハンマーによる打診も点の集積が膨大で、面的なデータ集積も不可能とも言える。広範な面積においては長時間を要し、作業員転落などの危険性も高かった。

これに対し連続的に打診をするツールを、鹿児島市の専門家（堀之内 茂氏）が考案した。人為・主観を介在させず機械的にその音響の減衰解析、画像解析を介してデータ化する技術が開発をされつつある。土木建築の屋外における打診技法から、複数の観測者がリアルタイムで受信し、デジタルでビジュアルなデータを記録する模様までを情報提供する。

講師は打診システムの全体総括者および解析システムの開発者。

申込書

NPO 法人 鹿児島技術士の会 平成30年度講演会 事務担当行

E-MAIL : t.ueno@uenojyo.com

FAX : 099-213-4791

(平成30年9月3日締切)

(定員に達し次第締切)

氏名	所属	電話番号	メールアドレス